

令和4年度実施施策に係る事前分析表

(文R4-11-1)

施策名	東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現				部局名	スポーツ庁健康スポーツ課	作成責任者	和田 訓			
施策の概要	スポーツ活動の推進、性別・年齢・障害の有無等にかかわらずスポーツ実施に関する普及啓発・環境整備を行う。また、スポーツを通じた健康増進に資する取組等を支援する。						政策評価実施予定時期	令和5年度以降に実施			
施策の予算額(当初予算) (千円)	令和3年度		令和4年度		施策に関する内閣の重要施策(主なもの)	第3期スポーツ基本計画第3章(1)(5)(8)(10) 経済財政運営と改革の基本方針2021第2章2.(3)					
	-		4,297,343								
達成目標1	国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築し、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指す。					目標設定の考え方・根拠	スポーツを通じて人々が心身ともに健康になることにより、国民医療費の増大や高齢化等の社会課題の解決に資するため、第3期「スポーツ基本計画」(令和4年3月文部科学大臣決定)第3章(1)「多様な主体におけるスポーツの機会創出」、(5)「スポーツによる健康増進」、(10)「スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」」を踏まえ設定。				
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 国民一人一人が日々の生活の中でスポーツに親しめる環境整備を行い、スポーツ人口の拡大を目指すことが重要であることから、第3期スポーツ基本計画(令和4年3月)において、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%」になることを目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。</p> <p>【出典】スポーツの実施状況等に関する世論調査</p>			
①成人のスポーツ実施率(週1回以上)	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	59.9%	56.4%	70.0%				
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-					
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 国民一人一人が日々の生活の中でスポーツに親しめる環境整備を行い、スポーツ無実施者層を減らすことが重要であることから、第3期スポーツ基本計画(令和4年3月)において、「成人の年1回以上のスポーツ実施率が100%に近づくこと」を目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。</p> <p>【出典】スポーツの実施状況等に関する世論調査</p>			
②成人のスポーツ実施率(年1回以上)	63.5%	74.1%	80.2%	79.5%	81.8%	80.1%	100%に近づく				
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-					

測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	—	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
③ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合 【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPI】	—	(男性) 35.9% (女性) 28.6%	(男性) 31.8% (女性) 25.5%	(男性) 33.4% (女性) 25.1%	—	—	R1年度より増加	【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 国民一人一人が日々の生活の中でスポーツに親しめる環境整備を行い、その強度を含む運動・スポーツ実施状況を把握することが重要であることから、第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）において、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加」を目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度、R3年度の調査が中止となり、データを把握できていないことから、最新値のR1年度を基準に目標値を設定している。 【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPI】 【出典】国民健康・栄養調査
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	R2年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
④ 「Sport in Life」コンソーシアムにおけるスポーツを通じた健康増進に係る取組状況（加盟団体数） 【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPI】	1,121	—	—	—	1,121	1,677	3,000	【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 働く世代・子育て世代は、成人全体に比べてスポーツ実施率が低い傾向にあることから、特に普及啓発等に取組が必要である。第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）において、「従業員の健康づくりのためにスポーツの実施に積極的に取り組む民間事業者の増加により、働く世代・子育て世代のスポーツを通じた健康増進を図る」こととしており、「新経済・財政再生計画改革工程表2020」において、「Sport in Life」コンソーシアムの加盟団体数に関し、「2026年度までに3,000団体が加盟」することを目指していることから、本測定指標及び目標値を設定した。 【新経済・財政再生計画 改革工程表2021のKPI】 【出典】文部科学省調べ
	年度ごとの目標値	—	—	—	1,000	1,500		

達成手段 (開始年度)	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
日本武道館補助 (昭和40年度)	①～③	0319	—
Sport in Life推進プロジェクト (令和2年度)	①～④	0322	—
スポーツ政策の基礎的調査及び広報活動の実施 (平成22年度)	①～③	0325	—
スポーツによる地域活性化推進事業 (運動・スポーツ習慣化促進事業) (平成27年度)	①～③	0326	—
日本スポーツ協会補助 (昭和32年度)	①～③	0329	—
体育・スポーツ施設に関する調査研究 (平成27年度)	①②	0330	—
生涯スポーツ振興事業 (昭和35年度)	①～③	0331	—
スポーツ審議会健康スポーツ部会	①～④	—	スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現等に向けた方策について調査審議。
昨年度事前分析表からの変更点	第3期スポーツ基本計画に基づき、政策評価体系の見直しが行われたため、達成目標や測定指標等を変更した。		

達成目標 2	学校や地域における子供・若者のスポーツ機会を充実させ、運動好きな子供や日常から運動に親しむ子供を増加させることで、子供の体力の向上を図るのみならず、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身ともに健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力を育成するとともに、より幅広いニーズに応えられるスポーツ環境を実現する。						目標設定の考え方・根拠	第3期スポーツ基本計画において政策目標とされている、子どもから大人まで心身ともに健全な明るく豊かで活力ある社会を実現するためには、子どものスポーツ機会・環境の確保が必要であることから、第3期スポーツ基本計画第3章(1)「多様な主体におけるスポーツの機会創出」、(10)「スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」を踏まえ設定。
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
①1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童・生徒の割合	(児童) 12% (生徒) 13%	(児童) 9% (生徒) 13%	(児童) 10% (生徒) 13%	(児童) 10% (生徒) 14%	—	(児童) 12% (生徒) 13%	(児童) 6% (生徒) 6.5%	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 達成目標に定めている、日常的に運動に親しむ子供の数を測定するものとして、本指標を設定。 第3期スポーツ基本計画において、第2期計画における目標不達の検証及びスポーツ審議会スポーツ基本計画部会の議論を踏まえ、「1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合を12%(令和3年度)から半減、生徒の割合を13%(令和3年度)から半減」とされていることから、本目標値・指標を設定した(同計画P32参照。)</p> <p>【出典】全国体力・運動能力、運動習慣等調査 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため調査を実施しておらず、実績値無しとなっている。</p>
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
②新体力テストの総合評価がC以上である児童・生徒の割合	(児童) 68% (生徒) 76%	(児童) 74% (生徒) 79%	(児童) 74% (生徒) 80%	(児童) 73% (生徒) 79%	—	(児童) 68% (生徒) 76%	(児童) 80%以上 (生徒) 85%以上	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 達成目標に定めている、子供の体力の向上について測定するものとして、本指標を設定。 第3期スポーツ基本計画において、第2期計画における目標不達の検証及びスポーツ審議会スポーツ基本計画部会の議論を踏まえ、「新体力テストの総合評価がC以上である児童の割合を68%(令和3年度)から80%以上に、生徒の割合を75%(令和3年度)から85%以上に増加」とされていることから、本目標値・指標を設定した(同計画P32参照。)</p> <p>【出典】全国体力・運動能力、運動習慣等調査 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため調査を実施しておらず、実績値無しとなっている。</p>

測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	R3年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
③卒業後にもスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童・生徒の割合	(児童) 87% (生徒) 82%	(児童) 74% (生徒) 65%	(児童) 80% (生徒) 76%	(児童) 80% (生徒) 75%	—	(児童) 87% (生徒) 82%	(児童) 90%以上 (生徒) 90%以上	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】</p> <p>達成目標に定めている、生涯にわたって運動やスポーツを継続して取り組む資質や能力を持つ子供の数を測定するものとして、本指標を設定。</p> <p>第3期スポーツ基本計画において、第2期計画における目標不達の検証及びスポーツ審議会スポーツ基本計画部会の議論を踏まえ、「卒業後にもスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童の割合を86%（令和3年度）から90%以上に、生徒の割合を82%（令和3年度）から90%以上に増加」とされていることから、本目標値・指標を設定した（同計画P32参照。）。</p> <p>【出典】全国体力・運動能力、運動習慣等調査 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため調査を実施しておらず、実績値無しとなっている。</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	R3年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
④幼児期から大人、障害者等も含めて多様な主体が参加できる総合型地域スポーツクラブ等の整備状況 【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】	—	—	—	—	—	—	100%	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】</p> <p>「総合型クラブの登録・認証制度」は、総合型クラブの活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準としており、クラブの質的向上が図られることで、地域のスポーツ環境向上に資する制度として構築。</p> <p>第3期スポーツ基本計画において、「総合型クラブやスポーツ少年団の体制強化や役割の拡大により、より幅広いニーズに応えられる地域スポーツ環境を構築する」とされており、そのための具体的施策として「総合型クラブの登録・認証制度を47都道府県で運用開始」とされていることから、本目標値・指標を設定した（同計画P61参照。）。</p> <p>指標は、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度を運用開始している都道府県数/全都道府県数にて算出。</p> <p>当該指標で総合型クラブの質的向上の進捗、また身近なスポーツ環境の構築度合いを測ることができる。</p> <p>※総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度は令和4年度より運用開始のため、R3年度までの数値は存在しない。</p> <p>【新経済・財政再生計画 改革工程表2021KPI】</p> <p>【出典】文部科学省調べ</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		

達成手段 (開始年度)	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (平成20年度)	①②③	0321	—
中学校・高等学校スポーツ活動振興事業 (昭和60年度)	①②③	0324	—
スポーツキャリアサポート支援事業 (平成27年度)	①②③	0328	—
地域運動部活動推進事業 (令和3年度)	①②③	0336	—
感動する大学スポーツ総合支援事業 (令和4年度)	②	新04-0015	—
地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト (令和4年度)	①②③④	新04-0013	—
幼児期からの運動習慣形成プロジェクト (令和4年度)	①②③	新04-0014	—
令和の日本型学校体育構築支援事業 (令和4年度)	①②③	新04-0016	—
中学校における部活動指導員の配置支援事業 (令和4年度)	①②③	新04-0017	—
昨年度事前分析表からの変更点	第3期スポーツ基本計画に基づき、政策評価体系の見直しが行われたため、達成目標や測定指標等を変更した。		

達成目標 3	誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会を実現する。						目標設定の考え方・根拠	東京大会を通じて高まった共生社会に対する理解・関心への機運向上を生かし、誰もがスポーツに参画できるような機会の創出が求められることから、第3期スポーツ基本計画第3章(1)「多様な主体におけるスポーツの機会創出」、(8)スポーツを通じた共生社会の実現、(10)「スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」を踏まえ設定。
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
①障害者のスポーツ実施率 (週1回以上)	(成人) 19.2% (若年層) 31.5%	(成人) 20.8% (若年層) 29.6%	—	(成人) 25.3% (若年層) 30.4%	(成人) 24.9% (若年層) 27.9%	(成人) 31.0% (若年層) 41.8%	(成人) 40%程度 (若年層) 50%程度	【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 障害者は、一般に比べてスポーツ実施率が低い傾向にあるが、障害者がスポーツを通じて社会に参画することが重要であることから、第3期スポーツ基本計画において、「障害者の週1回以上のスポーツ実施率を40%程度(若年層は50%程度)」を目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。 【出典】障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
②障害者のスポーツ実施率 (年1回以上)	(成人) 39.8% (若年層) 58.1%	(成人) 41.1% (若年層) 56.2%	—	(成人) 45.6% (若年層) 55.2%	(成人) 46.4% (若年層) 50.6%	(成人) 58.7% (若年層) 73.1%	(成人) 70%程度 (若年層) 80%程度	【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 障害者は、一般に比べてスポーツ実施率が低い傾向にあるが、障害者がスポーツを通じて社会に参画することが重要であることから、第3期スポーツ基本計画において、「障害者の年1回以上のスポーツ実施率を70%程度(若年層は80%程度)」を目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。 【出典】障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		

測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	R3年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
③障害者スポーツを体験したことのある者の割合	5.7%	—	—	—	—	5.7%	20%程度	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 共生社会の実現に向けては、障害者の有無に関わらず、誰もが一緒にスポーツを行える環境の構築が重要であることから、第3期スポーツ基本計画において、「障害者スポーツを体験したことのある者の割合を20%程度とすること」を目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。</p> <p>【出典】スポーツの実施状況等に関する世論調査</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
④女性のスポーツ実施率（週1回以上）	41.0%	49.9%	53.0%	51.0%	58.3%	54.1%	R3年度より増加	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 女性は、成人全体に比べてスポーツ実施率が低い傾向にあり、特に普及啓発等の取組が必要であることから、第3期スポーツ基本計画において、「女性がスポーツをしやすい環境整備等を促進し、女性のスポーツ実施率を向上させる」ことを目指すとしており、本測定指標及び目標値を設定した。</p> <p>【出典】スポーツの実施状況等に関する世論調査</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H25年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R8年度	
⑤スポーツ団体における女性理事の割合	—	—	—	—	—	23.2%	40.0%	<p>【測定指標の選定理由及び目標値の設定の根拠】 スポーツを軸とした共生社会の実現のためには、各競技を統括する中央競技団体（NF）において、女性の活躍の場を拡大・推進させることが重要である。これについて、第3期スポーツ基本計画の施策目標において、「ガバナンスコード（NF向け）及び「第5次男女共同参画基本計画」を踏まえ、スポーツ団体における女性理事の割合を、目標値である40%に近づけるよう促す。」とされていることから、本測定指標及び目標値を設定した。</p> <p>【出典】文部科学省調べ</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	40.0		

達成手段 (開始年度)	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
日本パラスポーツ協会補助 (平成26年度)	①～③	0338	—
全国障害者スポーツ大会開催事業 (地方スポーツ振興費補助) (平成26年度)	①②	0339	—
障害者スポーツ推進プロジェクト (平成30年度)	①～③	0344	—
Sport in Life推進プロジェクト (令和2年度) (再掲)	①～④	0322	—
スポーツによる地域活性化推進事業 (運動・スポーツ習慣化促進事業) (平成27年度) (再掲)	①～④	0326	—
スポーツ審議会健康スポーツ部会 (再掲)	①～④	—	スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現等に向けた方策について調査審議。
スポーツ団体ガバナンスコード (令和元年度)	⑤	—	スポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範として令和元年6月、8月に策定。
昨年度事前分析表からの変更点	第3期スポーツ基本計画に基づき、政策評価体系の見直しが行われたため、達成目標や測定指標等を変更した。		